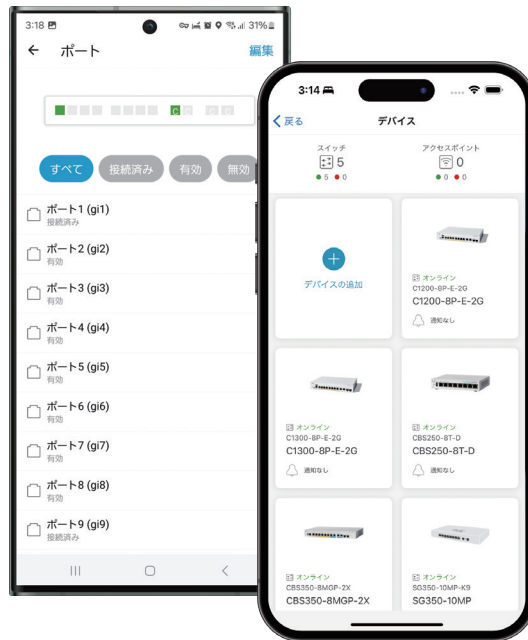




Cisco Catalyst 1200 & 1300 シリーズ スイッチ



——かんたんセットアップガイド—— モバイルアプリ編

2024 年 1 月版

- | | | |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | スイッチをネットワークに接続する | P04 |
| 2 | モバイルアプリをインストールする | P05 |
| 3 | サイトを作成する | P07 |
| 4 | スイッチを追加する | P10 |
| 5 | ネットワークを作成（設定）する | P14 |
| 6 | ネットワークを稼働させる | P17 |
| 7 | サイトを設定変更・モニタリングする | P19 |
| 8 | スイッチポートを設定変更・モニタリングする | P23 |

はじめに

Cisco Catalyst 1200 シリーズ スマートスイッチおよび Cisco Catalyst 1300 シリーズ マネージドスイッチは、シスコならではのパフォーマンスと信頼性、セキュリティ、および中小企業のネットワークに必要な十分な機能を兼ね備えたネットワーク基盤を、シンプルに構築および運用管理できるネットワークスイッチです。

● パフォーマンス

全モデルが 1 ギガビットイーサネット (1GE) に対応、一部のモデルは 10 ギガビットイーサネット (10GE) にも対応しています。さらに PoE 給電対応モデルは全モデルが 1 ポートあたり 30 W の給電が可能な PoE+ (802.3at) に対応、Wi-Fi 6 アクセスポイントなど最新のネットワーク機器のすっきり配線が可能です。

● 信頼性

国内外で数々の導入実績を誇る、安心と信頼のシスコ製品。万が一の障害時も、Web インターフェイスや Cisco Business Mobile アプリによるモニタリングで迅速に対応できます。

● セキュリティ

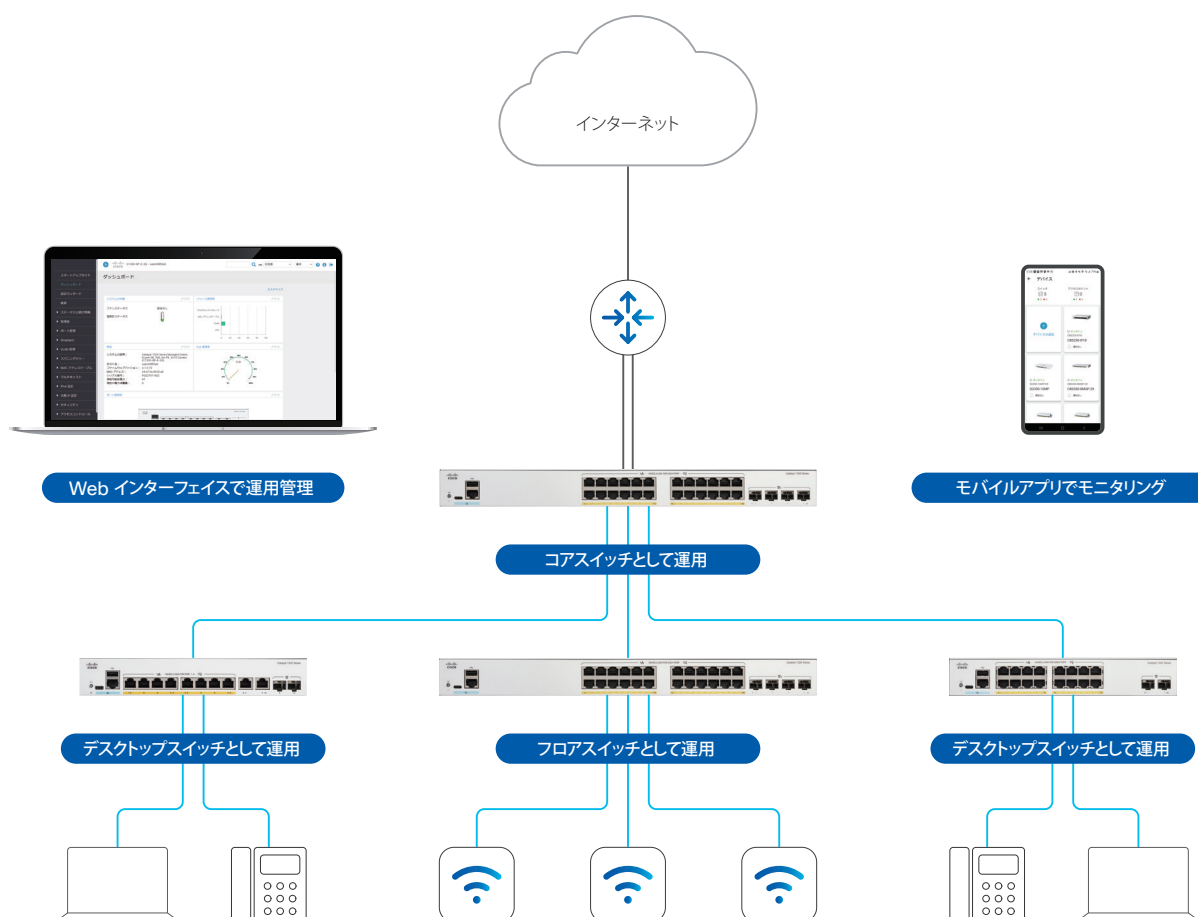
ACL (アクセスコントロールリスト) など、ビジネスに必要不可欠なセキュリティを Web インターフェイスで簡単に設定できます。

● 中小企業のネットワークに必要な不可欠な機能

レイヤ 3 ルーティングや VLAN など、中小企業のネットワーク構築に必要な十分な機能を Web インターフェイスで簡単に設定できます。

● シンプルに構築および運用管理

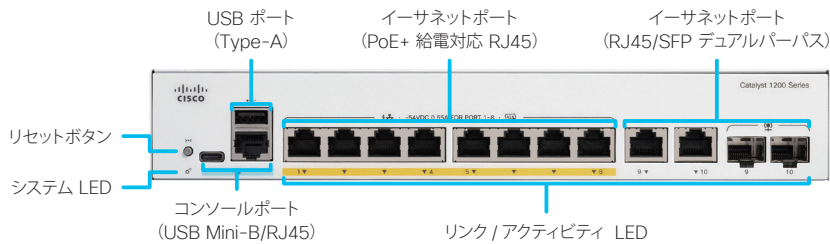
つなぐだけで使用を開始できる、プラグアンドプレイスイッチとしても導入可能。Web インターフェイスでは、設定ウィザードによる簡単設定ときめ細やかな個別設定の両方をサポートします。さらに Cisco Business Mobile アプリを利用すれば、複数の Cisco Catalyst 1200/1300 シリーズ スイッチおよび Cisco Business 製品の簡易設定とモニタリングが可能です。



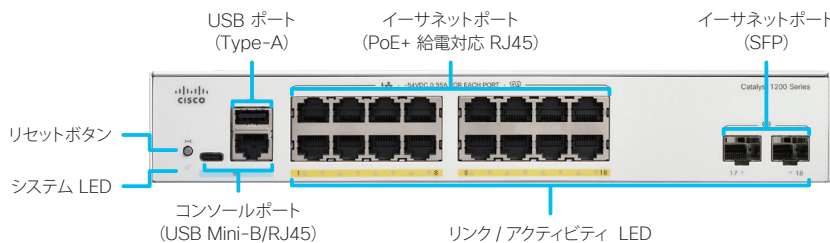
スイッチの前面パネル

スイッチの前面パネルには、ネットワーク機器や端末を接続するイーサネットポート、CLI (コマンドライン インターフェイス) でスイッチを設定管理する場合に使用するコンソールポート、ファームウェアなど各種ファイルのストレージとして USB メモリを接続できる USB ポート、スイッチの状態を表示する LED、スイッチを再起動または工場出荷状態に戻す場合に使用するリセットボタンが配置されています。

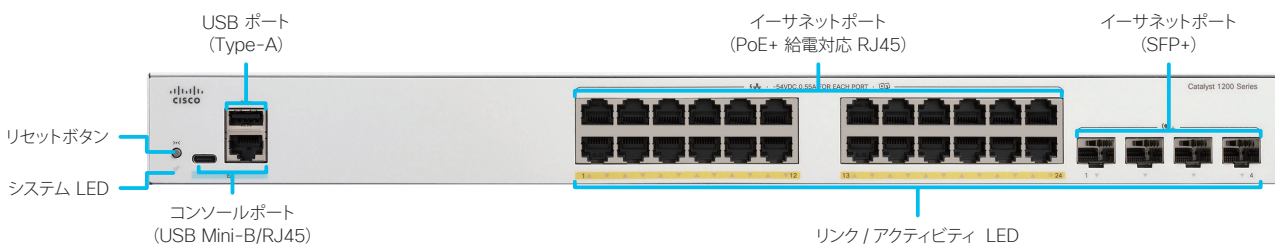
8 ポートモデル例 (C1200-8P-E-2G)



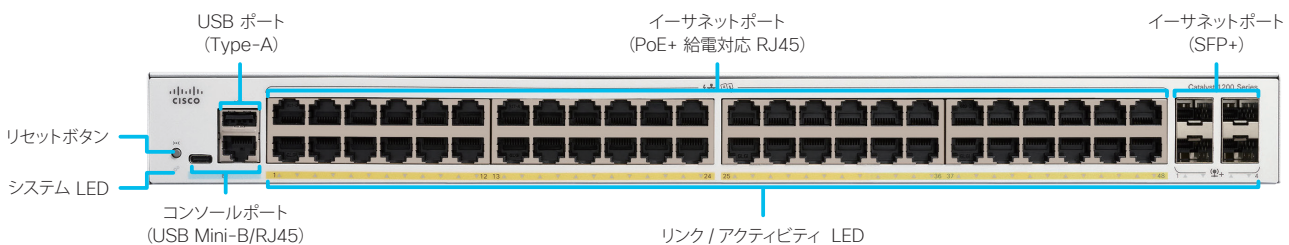
16 ポートモデル例 (C1200-16FP-2G)



24 ポートモデル例 (C1200-24FP-4X)



48 ポートモデル例 (C1200-48P-4X)



LED 状態表示

	システム LED	リンク / アクティビティ LED
緑色で点灯	IP アドレス取得済み	接続した機器 / 端末とリンクを確立
緑色で点滅	起動中、セルフテスト中、IP アドレス取得中	接続した機器 / 端末と通信中
オレンジ色で点滅	障害発生中	
消灯	電源 OFF	機器 / 端末と未接続、またはリンクを未確立

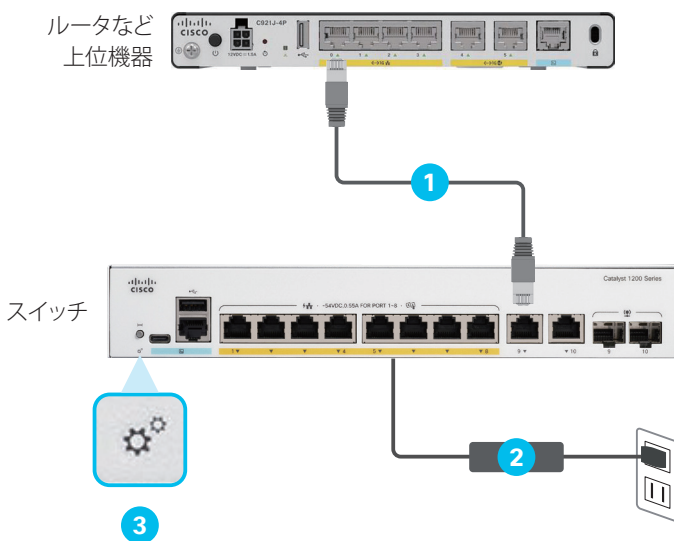
1

スイッチをネットワークに接続する

スイッチをネットワークおよび電源に接続します。

注意

スイッチをネットワーク（ルータなど上位機器）に接続するためのイーサネットケーブル、または SFP/SFP+ モジュールと光ファイバケーブルの組み合わせが必要です。



1 スwitchをネットワークに接続

スイッチは、イーサネットケーブル（LAN ケーブル、UTP ケーブル）、または SFP モジュールと光ファイバケーブルの組み合わせによる接続をサポートします。

通常は、スイッチの RJ45 ポートとルータなど上位機器の RJ45 ポートをイーサネットケーブルを使用して接続します。

スイッチでは PoE 非対応ポートの使用を推奨します。上位機器で使用するべきポートの詳細は、お使いの機器のマニュアルを参照してください。

2 スwitchを電源に接続

8 ポートモデルでは付属の電源アダプタと電源ケーブル、16、24、および 48 ポートモデルでは付属の電源ケーブルを使用して接続します。

3 システム LED が緑色で点灯していることを確認

電源に接続したら、スイッチ前面のシステム LED が緑色で点滅し、続いて①でネットワークに接続したイーサネットポートのリンク/アクティビティ LED が緑色で点滅します。

システム LED が緑色で点灯したら、ネットワーク接続は完了です。

注意

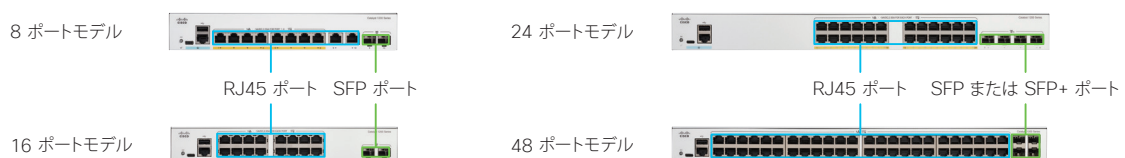
DHCP サーバー（ルータなど上位機器）によって、ネットワークに接続しようとする機器（スイッチ）に自動的に IP アドレスを割り当てるネットワーク構成ではない場合、スイッチのネットワーク接続は完了せず、システム LED が緑色で点滅したまま点灯しません。

Cisco Business Mobile アプリでは初期設定できないため、PC をスイッチに直接接続して Web インターフェイスから手動で IP アドレスを割り当てる必要があります。

TIP MEMO

スイッチの前面には、2 種類のイーサネットポートがあります。^{*1}

- RJ45 ポート：一般的なイーサネットケーブル（LAN ケーブル、UTP ケーブル）を接続
- SFP または SFP+ ポート（モジュールスロット）：SFP モジュールまたは SFP+ モジュールを装着



*1 8 ポートモデルの 9 番ポートおよび 10 番ポートは、RJ45 ポートと SFP ポートを組み合わせたデュアルパーバスポートです。RJ45 ポートと SFP ポートのどちらか一方だけを使用できます（同時使用不可）。

2

モバイルアプリをインストールする

スイッチをネットワークに接続したら、Cisco Business Mobile アプリ（モバイルアプリ）をダウンロードおよびインストールして起動します。



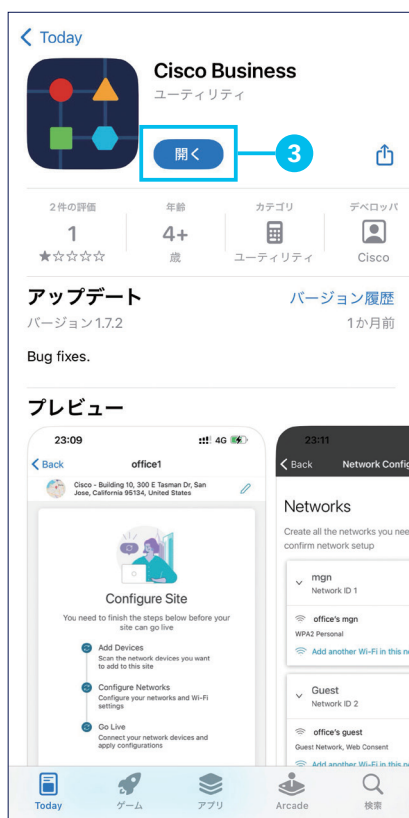
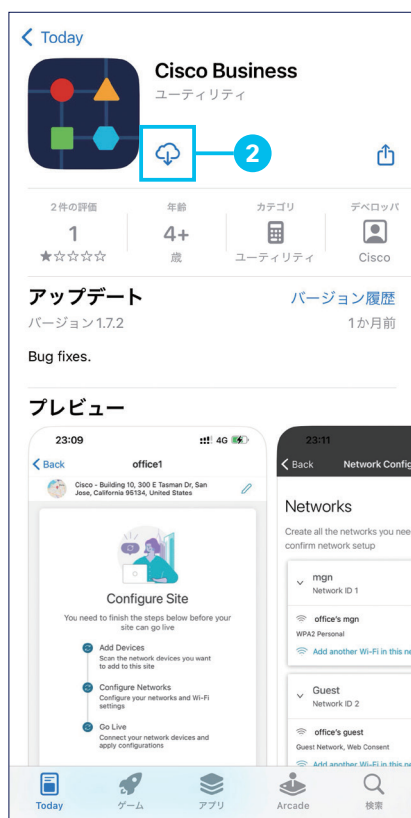
App Store



Play ストア

1 QR コードをスキャン

スマートフォンのカメラで QR コードを読み取ります。iPhone では App Store アプリ、Android スマートフォンでは Play ストアアプリが起動し、モバイルアプリのダウンロードページが表示されます。QR コードをスキャンせずに、各アプリで「Cisco Business」を検索しても OK です。



2 アイコンをタップ

モバイルアプリをダウンロードおよびインストールします。「開く」が表示されたら、インストールは完了です。

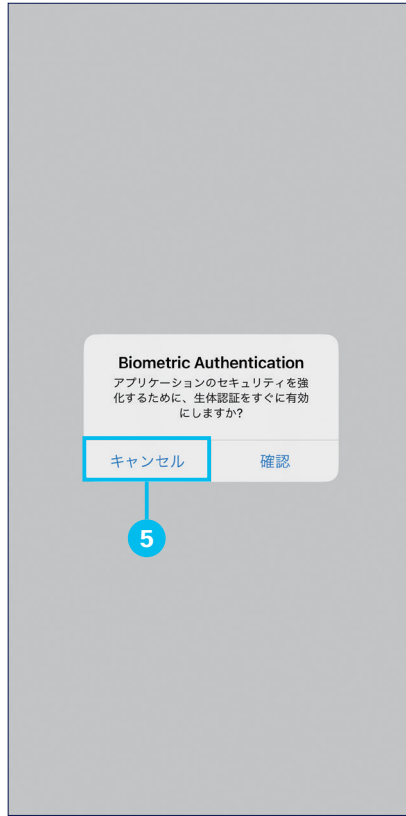
3 「開く」をタップ

モバイルアプリを起動します。



MEMO

Android では②で、「インストール」をタップします。



4 [許可] をタップ

モバイルアプリがローカルネットワーク上のデバイスを検索および接続する権限を許可します。

5 [キャンセル] または（必要に応じて）[確認] をタップ

[確認] をタップすると、モバイルアプリ起動時の生体認証（Face ID または Touch ID）またはパスワード認証を有効化できます。

TIP MEMO

Android では④～⑥で、「位置情報へのアクセス」を許可および「生体認証」などをキャンセルまたは有効化します。



6 [1度だけ許可] または [アプリの使用中は許可] をタップ

モバイルアプリが位置情報を使用する権限を許可します。[アプリの使用中は許可] をタップすると、次のモバイルアプリ起動時から表示されなくなります。

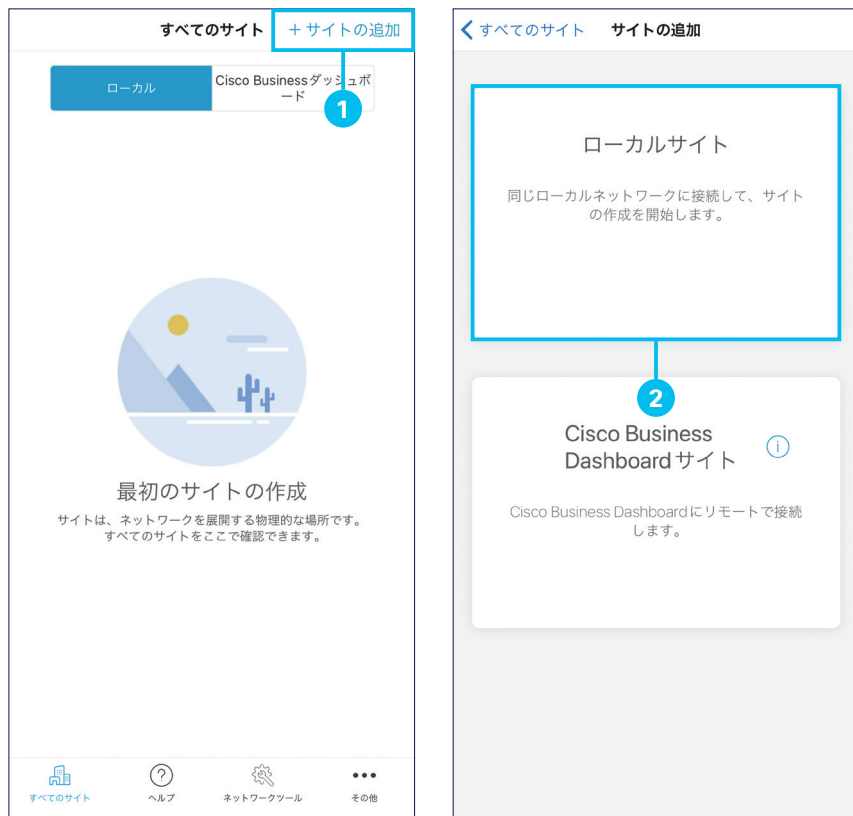
6 モバイルアプリの起動を確認

[最初のサイトの作成] 画面が表示されたら、モバイルアプリの起動は完了です。

続けて、サイトを作成します。

3 サイトを作成する

本社、支社など、ネットワークの場所を表す「サイト」を作成します。



- 1 [+サイトの追加] をタップ
- 2 [ローカルサイト] をタップ

TIP MEMO

Cisco Business Mobile アプリでは、たとえば「東京本社」「名古屋支社」「大阪支社」など、複数のサイトを作成することができます。ただし、あるサイトのネットワークを設定管理およびモニタリングするためには、そのサイトの Wi-Fi アクセスポイント（管理用 SSID）に接続する必要があります。たとえば東京本社サイトネットワークの設定管理やモニタリングなら、東京本社サイトの Wi-Fi アクセスポイントに接続する必要があります。そのため、名古屋支社や大阪支社、外出先などからリモートで設定管理およびモニタリングすることはできません。適切な Wi-Fi アクセスポイント（管理用 SSID）に接続していない場合は、接続を要求するダイアログが表示されます。





3 [始める] をタップ

4 [サイトにどのような名前を付けますか?] に任意のサイト名を入力

5 [サイトを最もよく表しているのはどれですか?] ドロップダウンリストでサイトの種類を選択

[オフィス] [小売] [ホテル業] [各種学校] [ホーム] [その他] を選択することができます。

6 [フルアドレスは何ですか?] を確認

デフォルトでは、スマートフォンの位置情報に即したおおまかな住所が表示されます。正確な住所、または位置情報とは異なる住所を入力することもできます。

7 [国または地域] を確認

8 [次へ] をタップ

サイトの追加 サイトの追加

サイトクレデンシャル

このサイトのユーザー名とパスワードを作成します。これらのクレデンシャルは、このサイトに追加されたすべてのデバイスにアクセスするために使用されます

ユーザー名
HM 9

パスワード
 10 表示

11

次へ

サイトの追加 サイトの追加

サマリー

ほぼ完了です。作成する前に、サイトの詳細を確認してください。

サイト 編集

名前
東京本社

アドレス
町屋町丁, 荒川区, 東京都, 日本

タイプ
オフィス



サイトクレデンシャル
これらの認証情報は、個別の認証情報を持つデバイスを除き、このサイトに追加されたすべてのデバイスにアクセスするために使用 編集

ユーザー名 HM

12

サイトの追加

- 9 [ユーザー名] に任意の名前を入力
- 10 [パスワード] に任意のパスワードを入力
- 11 [次へ] をタップ
- 12 [サイトの追加] をタップ


サイトの設定内容を確認したら、[サイトの追加]をタップします。



注意

ユーザー名およびパスワードには、英大文字、英小文字、数字、および記号 (! や @ など) を使用することができます。パスワードは、上記の文字種から 3 種類以上、各 1 文字以上を含む、8 ~ 64 文字の長さで設定する必要があります。予測しやすい単語や名前、メールアドレスは含めないでください。

サイトの追加



完了サイト "東京本社" が作成されました

このサイトを使用して、ネットワーク、すべてのネットワークングハードウェア、およびゲストデバイスを管理できます。

13

次にすべきことはこちらです

[デバイスの追加](#)

完了

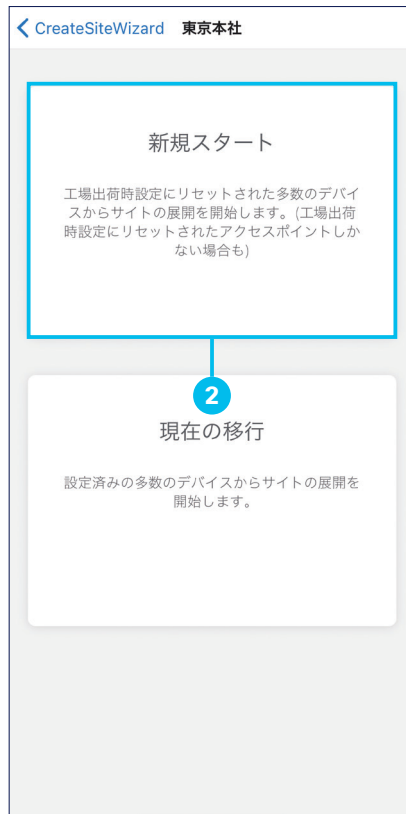
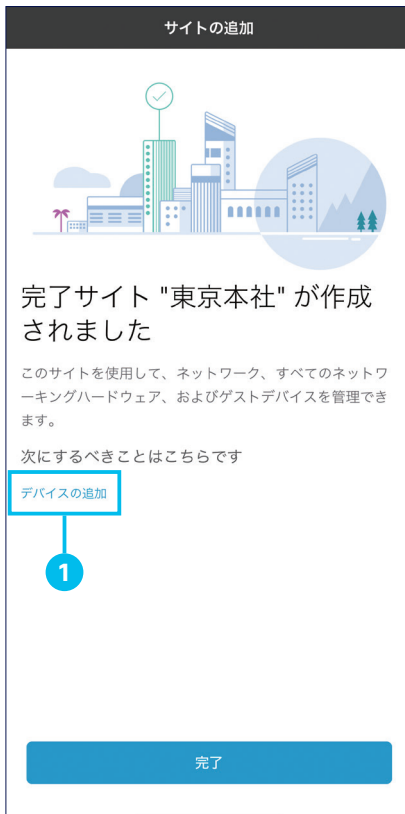
- 13 サイトの作成が完了した旨のメッセージを確認
サイトの作成が完了しました。

続けて、スイッチを追加します。
[完了] はタップせずに進みます。

4

スイッチを追加する

サイトを作成したら、スイッチを追加します。一度に複数のスイッチを追加することができます。本ガイドでは例として、2 台のスイッチを追加します。



1 [デバイスの追加] をタップ

「3 サイトを作成する」^③で [完了] をタップした場合は、「すべてのサイト」画面で作成したサイトをタップします。

2 [新規スタート] をタップ

本ガイドでは、購入時のまま未設定のスイッチを対象としているため、[新規スタート] をタップします。設定済みのスイッチだけを追加する場合は [現在の移行] をタップします。

⚠ 注意


[現在の移行] をタップして設定済みのスイッチだけを追加する場合は、以降の手順が異なります。画面の案内を参考にして進めてください。

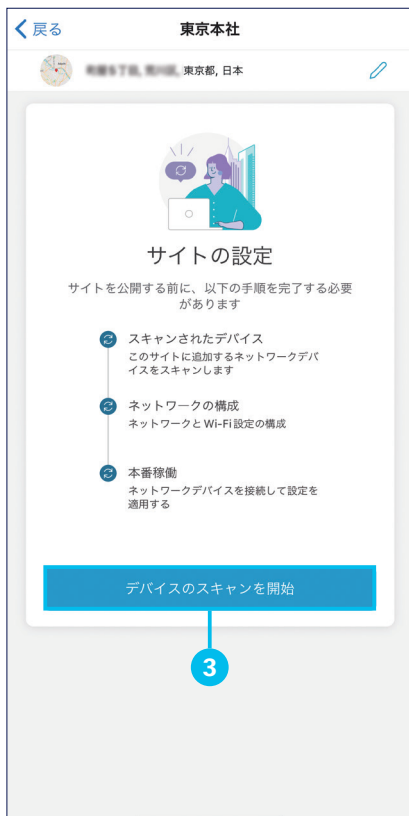
TIP MEMO

Cisco Catalyst 1200/1300 シリーズ スイッチだけでなく、Cisco Business 220/250/350 シリーズ スイッチ、さらにワイヤレス製品である Cisco Business 100/200 シリーズ アクセスポイントおよび Cisco Business 100 シリーズ メッシュエクステンダもまとめて追加することができます。

ただし、スイッチ製品だけが存在するネットワークと、スイッチ製品とワイヤレス製品が混在するネットワークでは、「5 ネットワークを作成 (設定) する」の手順が異なります。

本ガイドでは、スイッチ製品だけが存在するネットワークの作成方法を解説します。スイッチ製品とワイヤレス製品が混在するネットワークの作成方法は、「Cisco Business Mobile アプリのゼロデイ構成」をご覧ください。

 www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/smb/cloud-and-systems-management/cisco-business-mobile-app/kmgmt3001-Day-Zero-Config-Cisco-Business-Mobile-app.html



3 [デバイスのスキャンを開始] をタップ

4 [許可] をタップ

モバイルアプリがカメラにアクセスする権限を許可します。

TIP MEMO

Android では4で、「写真と動画の撮影」を許可します。



5 スイッチの QR コードをスキャン

スイッチの後面パネルに貼付されたシールの QR コードをスキャンします。

または、[手動での追加] をタップして [デバイスの MAC アドレス] [製品 ID] [シリアル番号] を入力します。これらの情報は、スイッチの箱に添付されたシールで確認することができます。通常は、[デバイスの MAC アドレス] は「MAC」欄、[シリアル番号] は [S/N] 欄に記載された英数字、[製品 ID] はスイッチのモデル名です。

6 [このデバイスの名前を指定してください] に任意の名前を入力

デフォルトは「switchxxxxxx」です (xxxxxx はスマートスイッチの MAC アドレス末尾)。本ガイドでは例として、「C1200-8P-E-2G-L2」を設定します。

7 [デバイスの追加] をタップ



8 [正常にスキャンされました] メッセージを確認

1 台目のスイッチの追加が完了しました。続けて、2 台目のスイッチを追加します。

9 スイッチの QR コードをスキャン

スイッチの後面パネルに貼付されたシールの QR コードをスキャンします。または、[手動での追加] をタップして [デバイスの MAC アドレス] [製品 ID] [シリアル番号] を入力します。



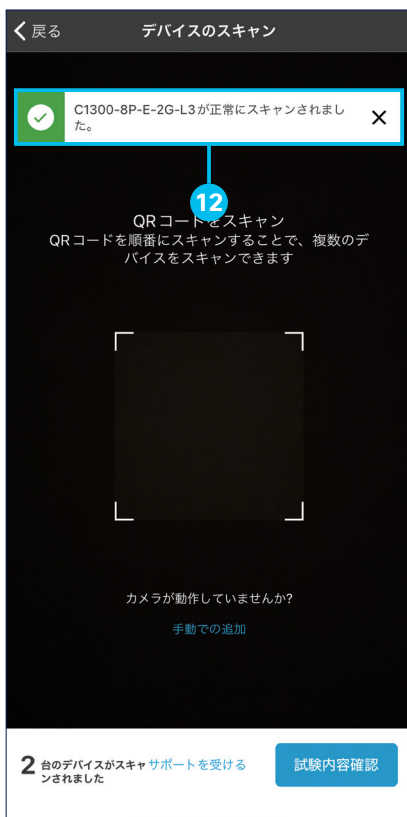
10 [このデバイスの名前を指定してください] に任意の名前を入力

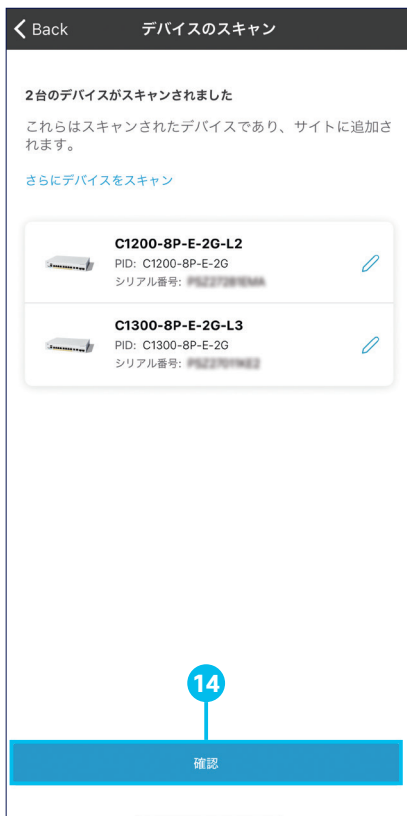
デフォルトは「switchxxxxxx」です (xxxxxx はスマートスイッチの MAC アドレス末尾)。本ガイドでは例として、「C1300-8P-E-2G-L3」を設定します。

11 [デバイスの追加] をタップ

12 [正常にスキャンされました] メッセージを確認

2 台目のスイッチの追加が完了しました。

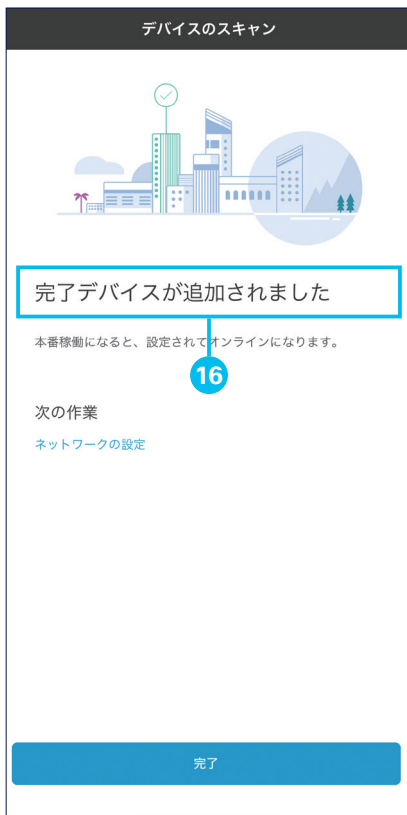




13 [試験内容確認] をタップ

14 [確認] をタップ

スイッチの名前を確認したら、[確認] をタップします。



15 [スキップ] をタップ

16 スイッチの追加が完了した旨のメッセージを確認

スイッチの追加が完了しました。

続けて、ネットワークを作成します。
[完了] はタップせずに進みます。

5

ネットワークを作成（設定）する

スイッチを追加したら、ネットワークを作成します。作成時に VLAN、DNS、NTP などの初期設定が可能です。本ガイドでは例として、最小限の初期設定でネットワークを作成します。



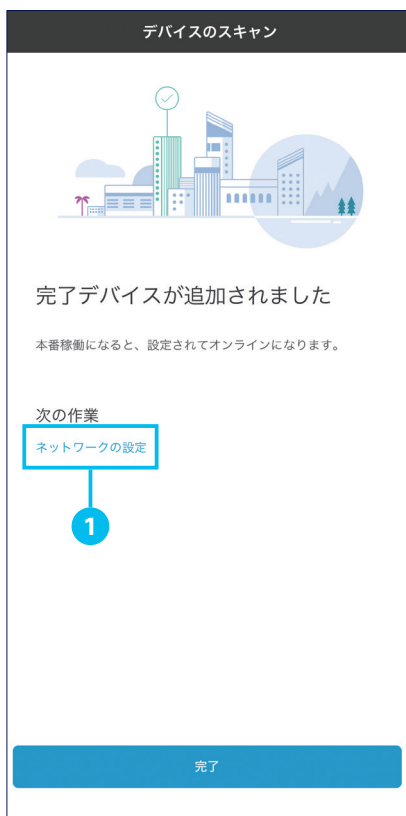
注意

スイッチ製品だけが存在するネットワークと、スイッチ製品とワイヤレス製品が混在するネットワークでは、作成（初期設定）の手順が異なります。

本ガイドでは、スイッチ製品だけが存在するネットワークの作成方法を解説します。スイッチ製品とワイヤレス製品が混在するネットワークの作成方法は、「Cisco Business Mobile アプリのゼロデイ構成」をご覧ください。



www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/smb/cloud-and-systems-management/cisco-business-mobile-app/kmgmt3001-Day-Zero-Config-Cisco-Business-Mobile-app.html



1 [ネットワークの設定] をタップ

4 [スイッチを追加する] 16 で [完了] をタップした場合は、「サイトの設定」画面で [サイト設定の開始] をタップします。

2 [ネットワークの作成] をタップ

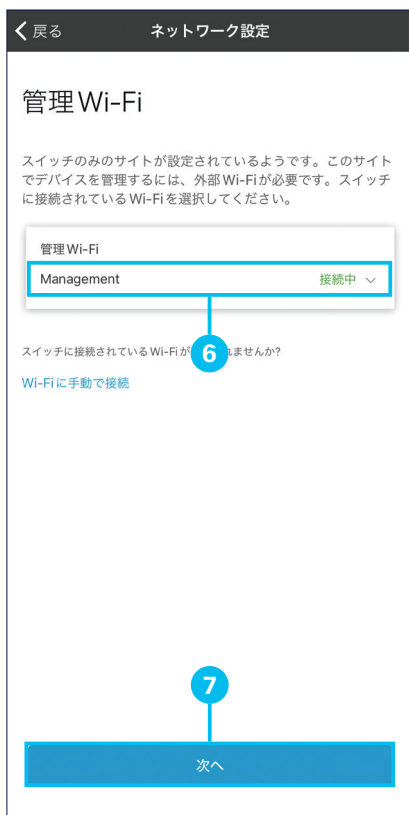


3 [ネットワーク名] に任意の名前を入力

4 [保存] をタップ

本ガイドでは例として、初期設定ではデフォルトネットワーク（VLAN ID 1）の名前だけ設定します。その他のネットワーク（VLAN）は「7 サイトを設定変更・モニタリングする」で追加します。

5 [ネットワーク設定の確認] をタップ



6 [管理 Wi-Fi] を確認

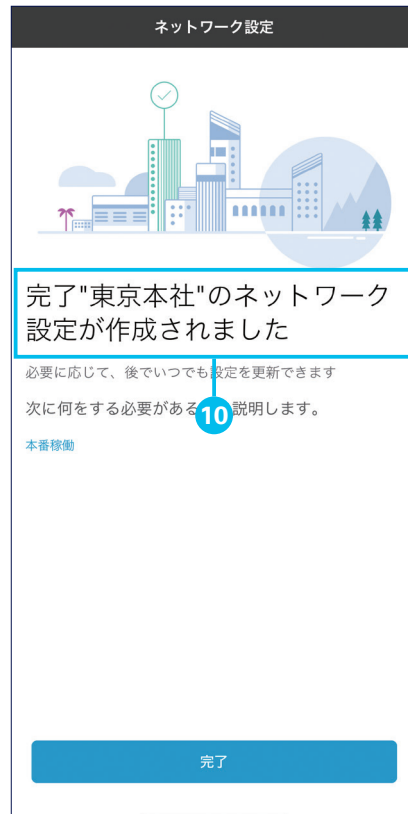
「1 スイッチをネットワークに接続する」でスイッチを接続したネットワークと同じネットワークの Wi-Fi アクセスポイント（管理用 SSID）にスマートフォンが接続していることを確認します。

たとえばゲスト用 SSID など、異なるネットワークにスマートフォンを接続している場合は、[Wi-Fi に手動で接続] をタップして適切なネットワーク（SSID）に接続します。

7 [次へ] をタップ

8 [自動的に実行させます] をタップ

DNS、NTP、タイムゾーンを自動または手動で設定することができます。



9 [ネットワーク設定を確認] をタップ

ネットワークの設定内容を確認したら、[ネットワーク設定を確認] をタップします。

13 ネットワークの作成が完了した旨のメッセージを確認

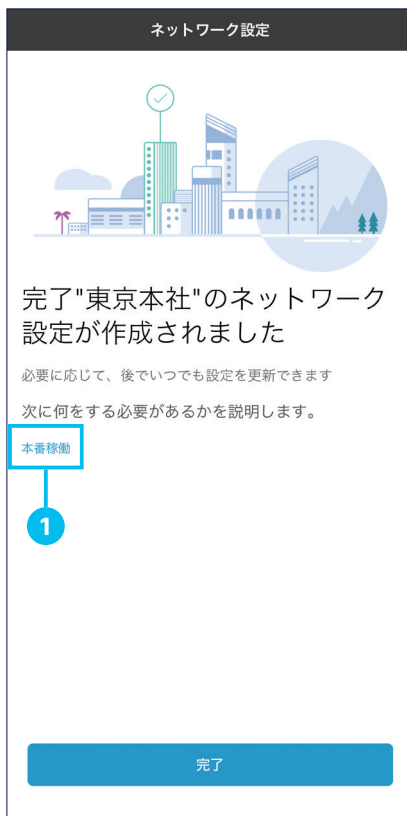
ネットワークの作成が完了しました。

続けて、ネットワークを稼働させます。
[完了] はタップせずに進みます。

6

ネットワークを稼働させる

ネットワークを作成したら、これまでの設定内容をスイッチに反映してネットワークを稼働させます。

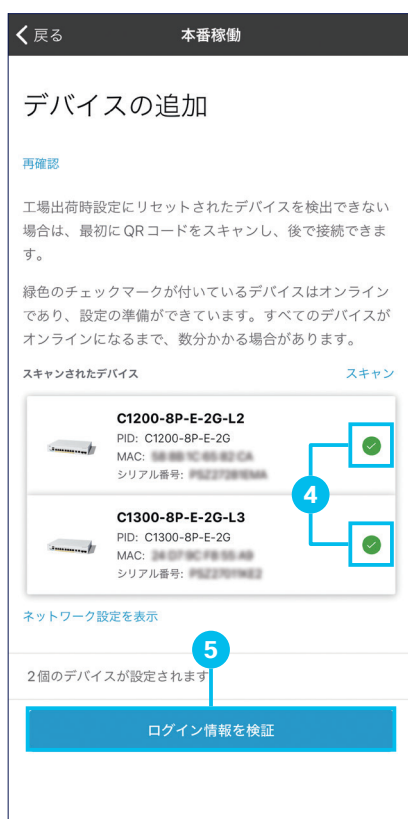


1 [本番稼働] をタップ

[5] ネットワークを作成 (設定) する [13] で [完了] をタップした場合は、「サイトの設定」画面で [本番稼働] をタップします。

2 [完了しました] をタップできるまで待機

[完了しました] をタップできるまで約 260 秒待機します。必要に応じて、スイッチのネットワーク接続を確認します (スイッチのシステム LED が緑色で点灯している場合は、ネットワーク接続が完了しています)。



3 [完了しました] をタップ

4 ✓ アイコンを確認

モバイルアプリで検出した (アクセス可能な) スイッチには ✓ アイコンが表示されます。

5 [ログイン情報を検証] をタップ

注意

4で ⚠️ アイコンが表示されたスイッチは、モバイルアプリで検出できなかった (アクセス不可能な) スイッチです。スイッチのネットワーク接続や Wi-Fi を含む既存のネットワーク設定を確認し、モバイルアプリからスイッチにアクセス可能な場合は [再確認] をタップします。少なくとも 1 台のスイッチを検出できない限り、5の [ログイン情報を検証] をタップできず、6には進めません。



8 [次へ] をタップ

9 [次へ] をタップ

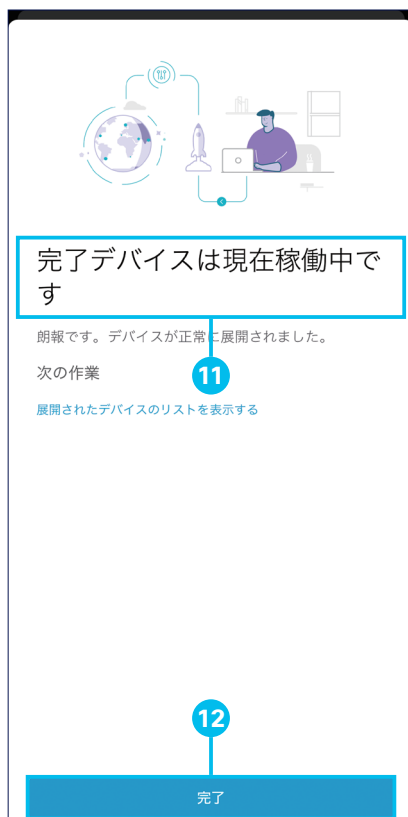
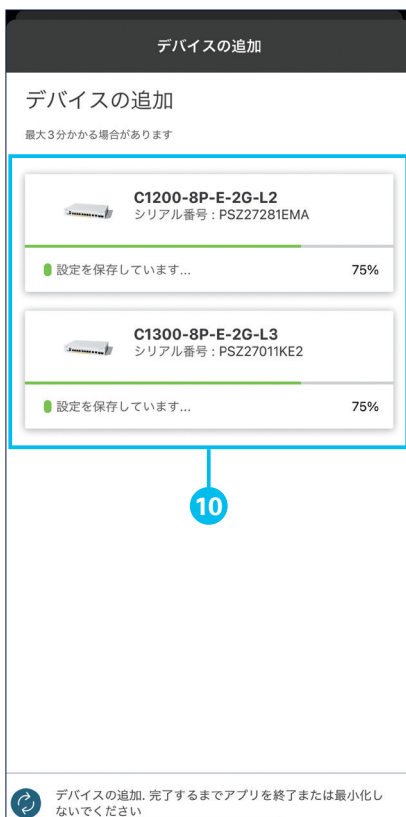


注意

本ガイドでは、購入時のまま未設定のスイッチを対象としています。

未設定のスイッチは「**検証済みデバイス**」に分類されて、「**5 ネットワークを作成 (設定) する**」**9**および**10**で設定したログイン情報 (ユーザー名およびパスワード) が**10**で設定されます。このログイン情報によって Web UI にもログインできるようになります。

ネットワークに設定済みのスイッチが含まれる場合は「**未検証のデバイス**」に分類されます。モバイルアプリで設定およびモニタリングする場合は、Web UI のログイン情報を入力する必要があります。



10 設定内容の反映 (保存) が完了するまで待機

11 ネットワークが稼動した旨のメッセージを確認

12 [完了] をタップ

ネットワークが稼動しました。

以上で、モバイルアプリのセットアップは完了です。



注意

10で設定内容の反映 (保存) 中にアプリを終了、または他のアプリを使用しないでください。通信が中断して、設定内容が正しく反映されない場合があります。

7

サイトを設定変更・モニタリングする

モバイルアプリは、サイトの設定変更やモニタリングをサポートします。

本ガイドでは VLAN を例にサイトの設定変更方法を解説しながら、その他の設定可能な項目やモニタリング可能な項目を紹介します。

TIP MEMO

本ガイドでは例として、サイトに営業部用の VLAN と経理部用の VLAN を設定します。サイトに対するネットワーク設定の変更は、サイト設定を継承する全デバイス（スイッチ）に反映されます。サイトではなく各デバイス（スイッチ）のネットワーク設定を個別に変更することもできます。



1 設定を変更したいサイトをタップ

2 [設定] をタップ

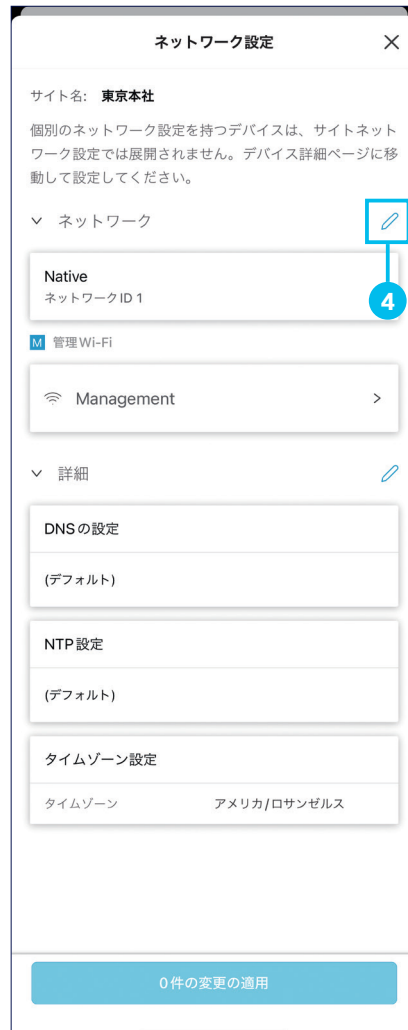
TIP MEMO

各サイトのページでは、ネットワーク数やオンライン / オフラインのネットワークデバイス数をひと目で把握することができます。

[+スイッチを追加] をタップすると Cisco Catalyst 1200/1300 シリーズ スイッチや Cisco Business 220/250/350 シリーズ スイッチを追加できるだけでなく、[+Wi-Fi] をタップすると Cisco Business 100/200 シリーズ アクセスポイントや Cisco Business 100 シリーズ メッシュエクステンダを追加して Wi-Fi を設定することができます。

TIP MEMO

サイトに問題がある場合は、「すべてのサイト」ページでは ⚠️ アイコンで問題の発生を、各サイトのページでは通知で問題の数や概要を把握することができます。🔧 アイコンをタップすると、問題の詳細を把握して自動または手動での解決を試行することができます。



3 [ネットワーク設定] をタップ

4 [ネットワーク] の アイコンをタップ

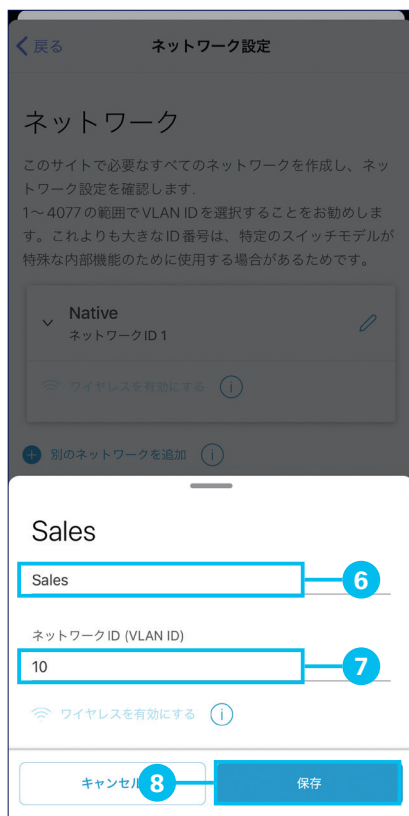
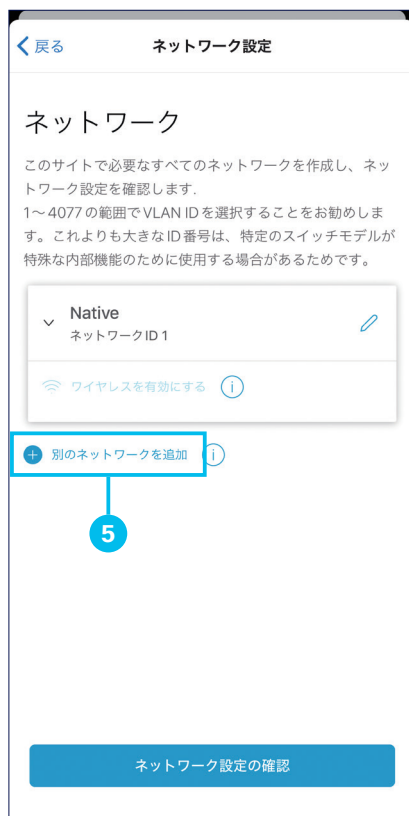
TIP MEMO

[詳細] の アイコンをタップすると、「5 ネットワークを作成（設定）する」で設定した内容を変更することができます。

TIP MEMO

[サイトの設定] をタップすると、「3 サイトを作成する」で設定した内容を変更することができます。

[デバイスログイン情報の設定] をタップすると、「4 スイッチを追加する」で追加したスイッチなど、ネットワークを構成するデバイスのログイン情報を個別に変更することができます。



5 [別のネットワークを追加] をタップ

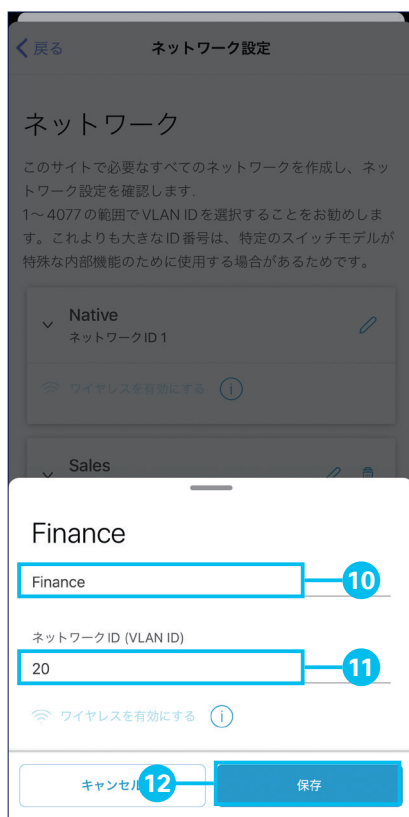
6 [ネットワーク名] に任意の名前を入力

管理しやすい名前を付けることを推奨します。本ガイドでは例として、「Sales」を入力します。

7 [ネットワーク ID (VLAN ID)] に任意の VLAN ID を入力

2 ~ 4094 の範囲で入力します。本ガイドでは例として、営業部 VLAN として運用中の VLAN ID 「10」を入力します。

8 [保存] をタップ



9 [別のネットワークを追加] をタップ

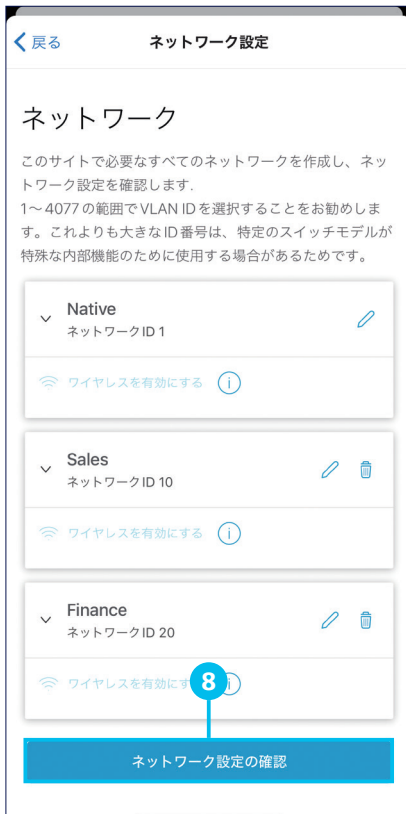
10 [ネットワーク名] に任意の名前を入力

本ガイドでは例として、「Finance」を入力します。

11 [ネットワーク ID (VLAN ID)] に任意の VLAN ID を入力

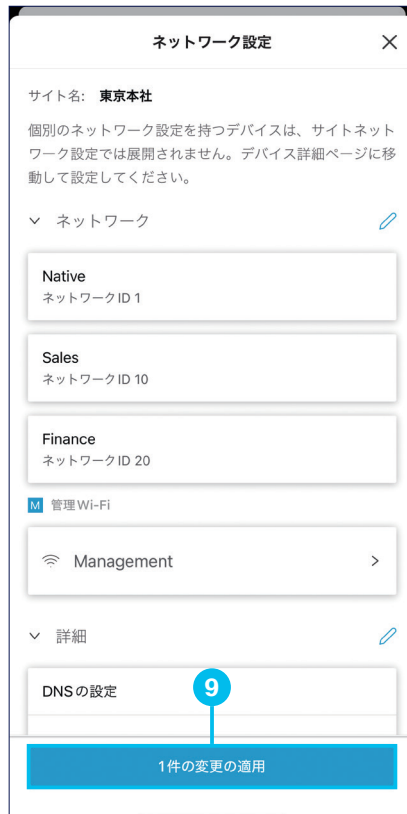
本ガイドでは例として、経理部 VLAN として運用中の VLAN ID 「20」を入力します。

12 [保存] をタップ

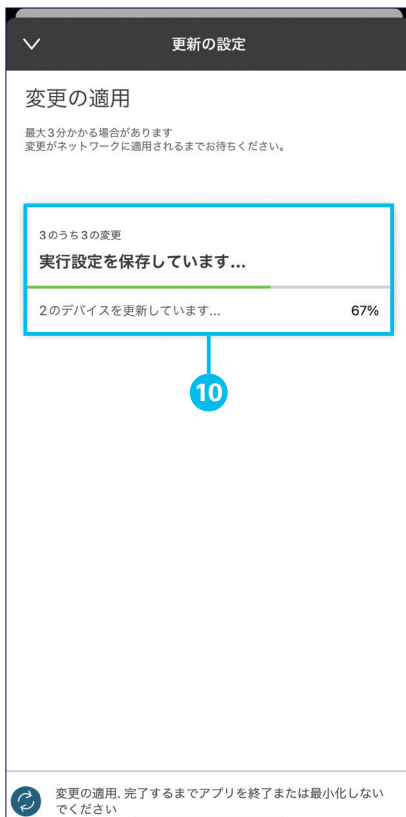


8 [ネットワーク設定の確認] をタップ

ネットワーク (VLAN) の設定内容を確認したら、[ネットワーク設定を確認] をタップします。



9 [1件の変更の適用] をタップ



10 設定内容の反映 (保存) が完了するまで待機

11 [完了] をタップ

ネットワークの設定変更が完了しました。



注意

設定内容の反映 (保存) 中にアプリを終了、または他のアプリを使用しないでください。通信が中断して、設定内容が正しく反映されない場合があります。

8

スイッチポートを設定変更・モニタリングする

モバイルアプリは、スイッチおよびスイッチポートの設定変更やモニタリングをサポートします。

本ガイドでは VLAN を例にスイッチポートの設定変更方法を解説しながら、その他の設定可能な項目やモニタリング可能な項目を紹介します。

TIP MEMO

本ガイドでは例として、8ポートモデル（C1200-8P-E-2G）の1～4番ポートに営業部用のVLAN ID、5～8番ポートに経理部用のVLAN IDを割り当てます。



- 1 設定を変更したいサイトをタップ
- 2 [設定] をタップ

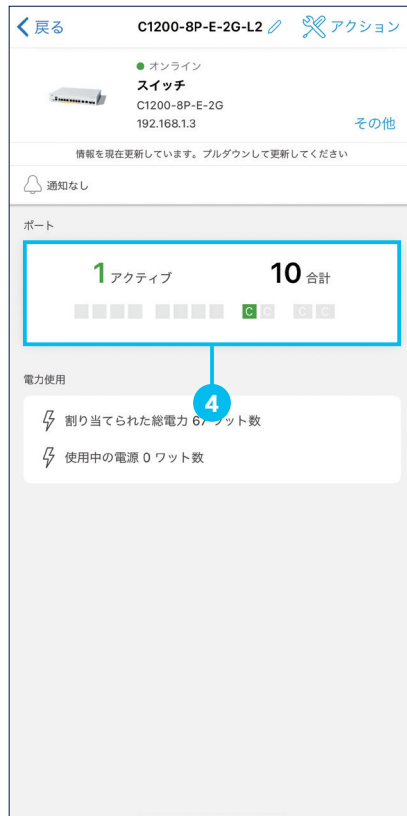
TIP MEMO

各サイトのページでは、ネットワーク数やオンライン / オフラインのネットワークデバイス数をひと目で把握することができます。

[+スイッチを追加] をタップすると Cisco Catalyst 1200/1300 シリーズ スイッチや Cisco Business 220/250/350 シリーズ スイッチを追加できるだけでなく、[+Wi-Fi] をタップすると Cisco Business 100/200 シリーズ アクセスポイントや Cisco Business 100 シリーズ メッシュエクステンダを追加して Wi-Fi を設定することができます。

TIP MEMO

サイトに問題がある場合は、「すべてのサイト」ページでは ⚠️ アイコンで問題の発生を、各サイトのページでは通知で問題の数や概要を把握することができます。
🔔 アイコンをタップすると、問題の詳細を把握して自動または手動での解決を試行することができます。



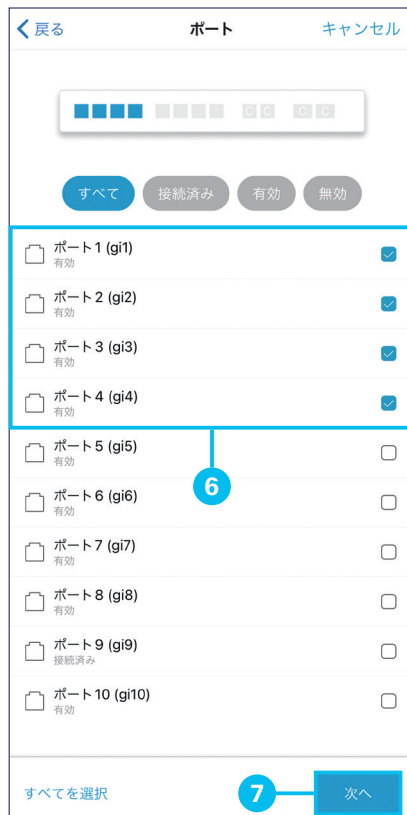
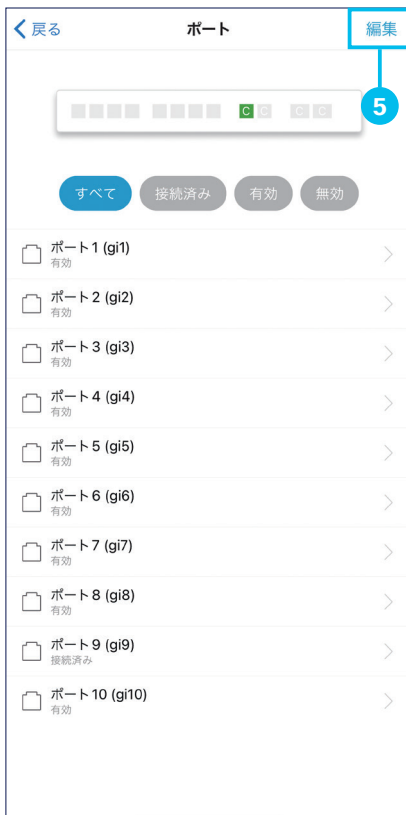
3 設定を変更したいスイッチをタップ

4 [ポート] をタップ

TIP MEMO

各デバイス（スイッチ）のページでは、アクティブな（使用中の）ポート数や合計ポート数、消費電力など、さまざまな情報を把握することができます。

また、[アクション] をタップすると、そのデバイスの「ネットワーク設定」ページや設定の「バックアップと復元」ページ、「パスワードの変更」ページにアクセスすることができます。そのデバイスの「リポート」（再起動）や「初期設定へリセット」（工場出荷状態に初期化）も可能です。



5 [編集] をタップ

6 設定を変更したいポートをタップしてチェック

本ガイドでは例として、営業部のユーザー（端末）が接続する 1 ～ 4 番ポートを順番にタップして選択します。

7 [次へ] をタップ

TIP MEMO

各デバイス（スイッチ）の「ポート」ページでは、アクティブな（使用中の）ポートやポートの使用可否設定（有効 / 無効）をひと目で把握することができます。



8 [VLAN ID] をタップ

9 設定したい VLAN ID をスクロールして選択

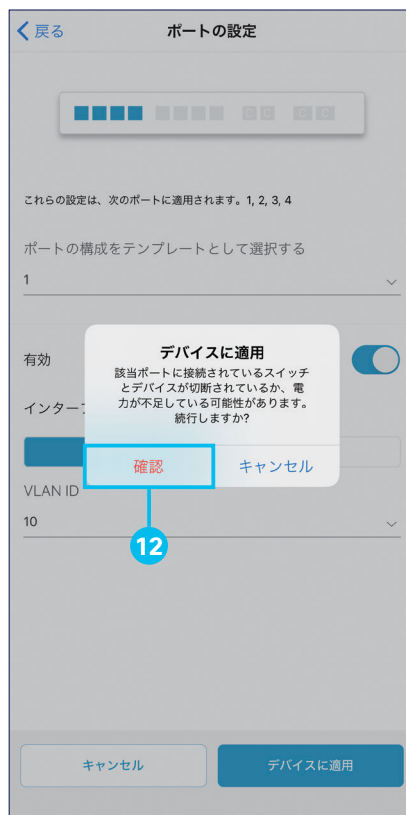
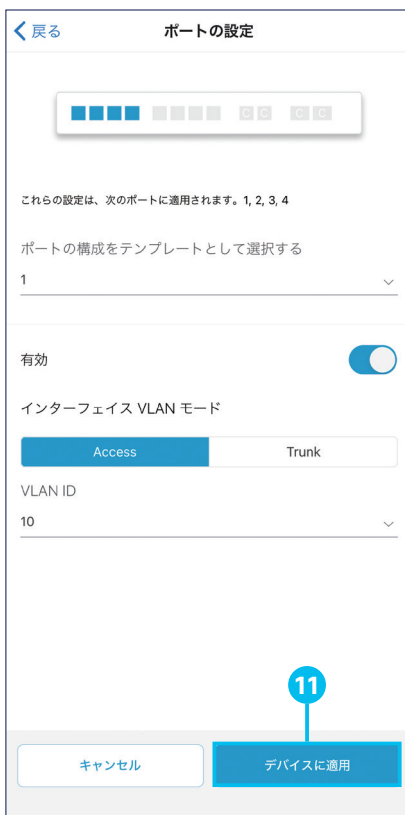
本ガイドでは例として、営業部 VLAN として運用中の VLAN ID「10」を選択します。

10 [完了] をタップ

TIP MEMO

各デバイス（スイッチ）の「ポートの設定」ページでは、ポートを有効化 / 無効化することもできます。

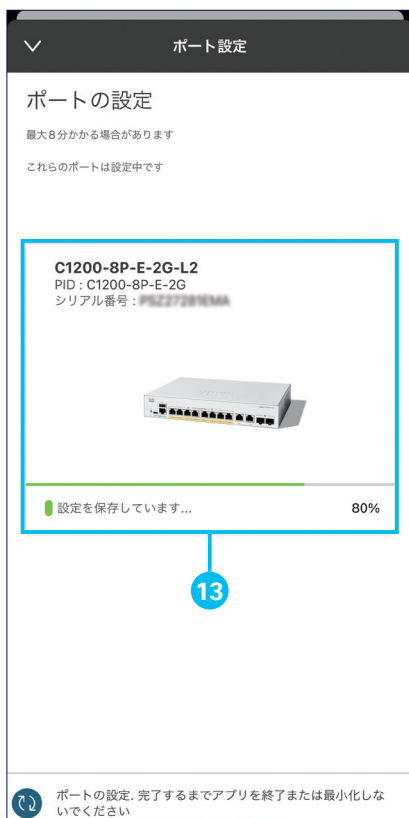
また、ルータやスイッチ、Wi-Fi アクセスポイントなど、他の VLAN 対応ネットワーク機器と接続するポートを VLAN のトランクインターフェイスに設定することもできます。



11 [デバイスに適用] をタップ

10 [確認] をタップ

通信が中断、および PoE 給電中ポートの場合は電力供給が中断する可能性がある旨のメッセージが表示されます。



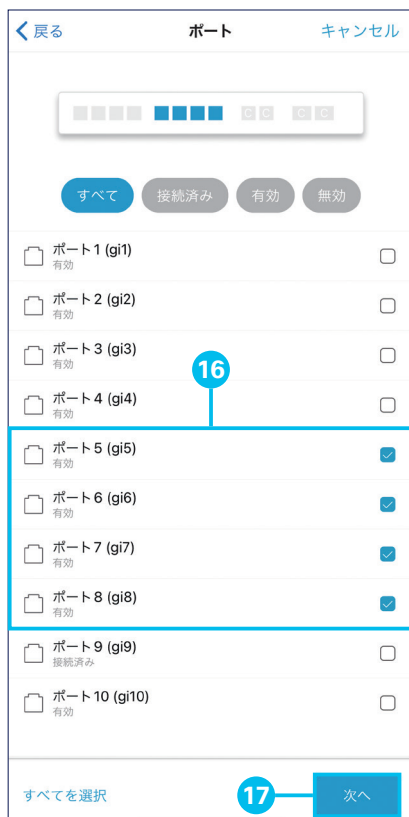
13 設定内容の反映（保存）が完了するまで待機

14 [完了] をタップ



注意

設定内容の反映（保存）中にアプリを終了、または他のアプリを使用しないでください。通信が中断して、設定内容が正しく反映されない場合があります。



15 設定を変更したポートをタップしてアンチェック

設定を変更したポートを順番にタップして選択を解除します。

16 設定を変更したいポートをタップしてチェック

本ガイドでは例として、経理部のユーザー（端末）が接続する 5 ～ 8 番ポートを順番にタップして選択します。

17 [次へ] をタップ

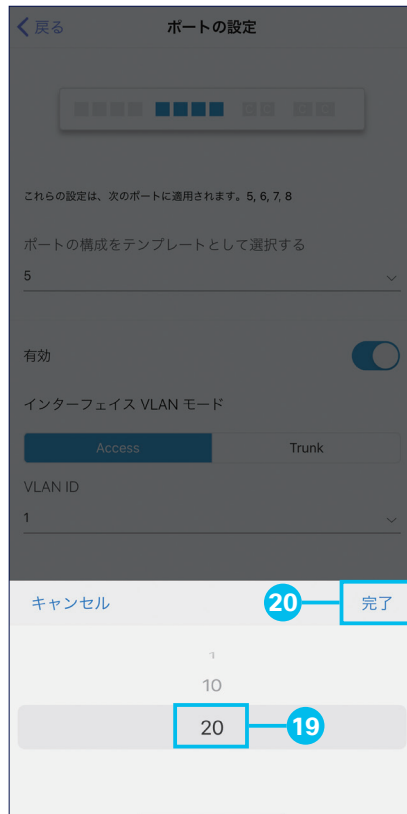


18 [VLAN ID] をタップ

19 設定したい VLAN ID をスクロールして選択

本ガイドでは例として、経理部 VLAN として運用中の VLAN ID「20」を選択します。

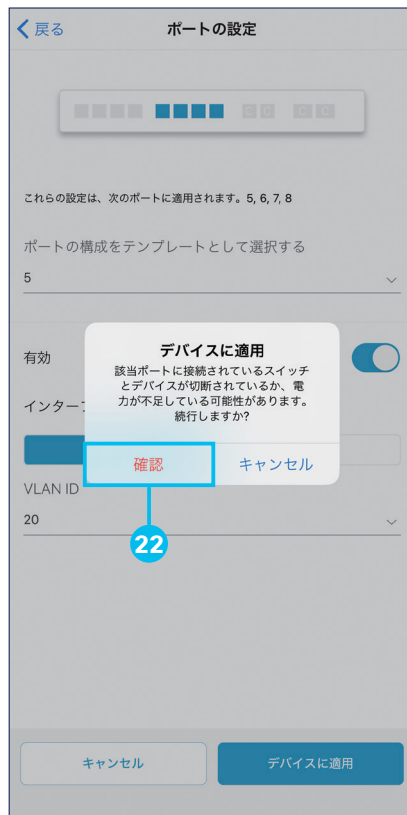
20 [完了] をタップ



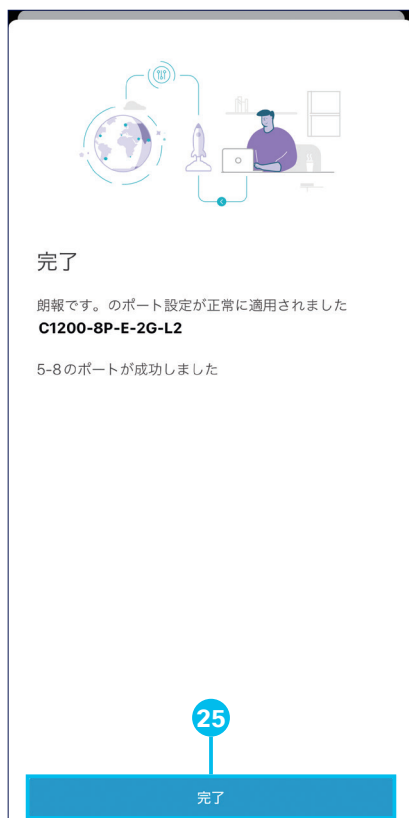
21 [デバイスに適用] をタップ

20 [確認] をタップ

通信が中断、および PoE 給電中ポートの場合は電力供給が中断する可能性がある旨のメッセージが表示されます。



22



13 設定内容の反映（保存）が完了するまで待機

14 [完了] をタップ



注意

設定内容の反映（保存）中にアプリを終了、または他のアプリを使用しないでください。通信が中断して、設定内容が正しく反映されない場合があります。

TIP リセットボタンとシステム LED の挙動について

スイッチの稼働中にリセットボタンを長押しすると、次の条件でスイッチをリブート(再起動)または初期設定へリセット(工場出荷状態に初期化)することができます。

- リセットボタンを 6 ～ 10 秒間の長押しでシステム LED が緑色で点滅 (低速)、点滅中にボタンを放すと再起動
- リセットボタンを 16 ～ 20 秒間の長押しでシステム LED が緑色で点滅 (高速)、点滅中にボタンを放すと工場出荷状態に初期化



製品サポートページ

www.cisco.com/c/ja_jp/support/cloud-systems-management/business-mobile-app/series.html

シスコ コミュニティ

community.cisco.com/t5/japan/ct-p/japanese-community

シスコ お問い合わせ窓口

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日 9:00 - 17:00

0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

cisco.com/jjp/go/vdc_callback



©2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は 2024 年 1 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
cisco.com/jp